

九州国際大学研究者情報

基 本 情 報

所属	現代ビジネス 学部 地域経済学科	氏名	山本 雄三 Yamamoto Yuzo
職名	教授	E-mail	y-yamamoto@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

2003(平成15)年3月	一橋大学経済学部経済学科卒業 学士(経済学)
2005(平成17)年9月	青山学院大学大学院経済学研究科博士前期課程修了 修士(経済学)
2015(平成27)年3月	東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻 博士後期課程単位取得後退学

■ 主な職歴

2007(平成19)年6月	独立行政法人労働政策研究研修機構 臨時研究協力員
2011(平成23)年7月	青山学院大学経済学部 助手
2014(平成26)年4月	九州国際大学経済学部 助教
2017(平成29)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部 准教授
2023(令和5)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部 教授(現在に至る)

教 育 活 動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部：労働経済学，ミクロ経済学，入門セミナー，専門演習，卒業研究
○ 大学院：

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：2018年度入門セミナーテキスト（Ⅰ．7,8章，Ⅱ．13,14章，15.3担当）
○ 教科書・教材：2019年度入門セミナーテキスト（第Ⅰ部6,7章，第Ⅱ部28,29章担当）
○ 教育活動：
○ 免許・資格：

研 究 活 動

■ 研究分野

研究分野	労働経済学（おもに実証分析）
主な研究テーマ	多様化する労働市場・働き方に関する研究
キーワード	労働市場, 多様な働き方

■ 主な著書・論文等

著書	
○	コロナ禍における個人と企業の変容:働き方・生活・格差と支援策、慶應義塾大学出版会、2021 年、(樋口美雄・労働政策研究・研修機構(編))(第Ⅱ部第7章「コロナ禍の在宅勤務による生活時間の変化——「新しい日常生活」」を執筆、共著:高見具広)。
○	検証・コロナ期日本の働き方—意識・行動変化と雇用政策の課題—、(共著)慶應義塾大学出版会、2023 年、(樋口美雄・労働政策研究・研修機構(編))(第Ⅰ部4章「雇用労働者における労働時間・収入の変動」, 第Ⅱ部第12章「コロナ禍の働き方変化とウェルビーイング —労働時間減少とテレワークに着目して—」を執筆、共著:高見具広)
論文	
○	雇用の安定性が結婚時期に与える影響からみる多様な正社員に関する一考察 — 結婚確率に対するサバイバル分析を用いた実証研究 — (単著), 2015 年, アジア共生学会年報, No. 11, pp. 39-49.
○	統計指標に基づく市町村分類の試み (共著:高見具広・高橋陽子), 2018 年, JILPT Discussion Paper 18-05, pp. 1-44.
○	緊急事態宣言 (2020 年 4~5 月) 下の在宅勤務の検証, (共著:高見具広), 2021 年, JILPT Discussion Paper 21-01, pp. 1-39.
○	コロナ禍における所得変動と所得格差, (共著:高見具広), 2022 年, JILPT Discussion Paper 22-03, pp. 1-54.
○	Working from home during the COVID-19 state of emergency in Japan, (with Tomohiro Takami), 2024, Japanese Journal of Sociology. < https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/ijjs.12166 >
○	「職業特性と健康—日本版 O-NET との接続による分析」, (共著:高見具広・小松恭子), 2025 年, 『働き方と生活・健康の課題 —JILPT 個人パネル調査の分析—』, 労働政策研究報告書, No. 235, 第2章, pp.54-78.
○	「ポストコロナのテレワーク」, (共著:高見具広), 2025 年, 『働き方と生活・健康の課題 —JILPT 個人パネル調査の分析—』, 労働政策研究報告書, No. 235, 第5章, pp.125-39.
学会発表	
その他	

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本経済学会、日本統計学会

■ 受賞等

2010(平成 22)年 3 月	第四回日本統計学会春季集会ポスターセッション 優秀発表賞
------------------	------------------------------

■ 研究助成金による研究

○ 財団法人理工学振興会 研究助成 (2008 年 4 月)

社会における活動等

○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「非正規労働者の様態に応じた能力開発施策に関する調査研究」研究委員 (2007 年 6 月-2010 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「ジョブ・カード制度の現状と今後の方向性のための研究」研究委員 (2010 年 4 月-2013 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「働くことと学ぶことについての研究会」研究委員 (2010 年 4 月-2013 年 3 月)
○ 代表校北九州市立大学の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」調査研究 WG メンバー (2016 年 7 月- 2018 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2017 年 7 月-2018 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2019 年 6 月-2020 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2020 年 9 月-2021 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルスによる経済、雇用・就業への影響、及び経済、雇用・労働対策とその効果についての分析に関する研究会」研究委員 (2020 年 9 月-2021 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「地域における雇用機会と働き方に関する研究会」研究委員 (2021 年 6 月-2022 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルスによる経済、雇用・就業への影響、及び経済、雇用・労働対策とその効果についての分析に関する研究会」研究委員 (2021 年 6 月-2022 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「経済社会の変化と労働者の生活、健康、ウェルビーイングに関する研究会」研究会委員 (2022 年 5 月-2023 年 3 月)
○ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「経済社会の変化と労働者の生活、健康、ウェルビーイングに関する研究会」研究会委員 (2023 年 9 月-2024 年 3 月)

大学運営活動等

○ 図書委員 2014 年 4 月～2015 年 3 月
○ 学生サービス委員 2015 年 4 月～2017 年 3 月
○ IR 推進委員 2017 年 4 月～2018 年 3 月
○ 入試広報委員 2020 年 4 月～2024 年 3 月

- 国際センター委員 2024 年 4 月～2025 年 3 月
- 入門セミナー担当幹事 2014 年 10 月～2017 年 3 月, 2022 年 4 月～2024 年 3 月, 2025 年 4 月～
- 専門演習(2 年次以上)担当幹事 2018 年 4 月～2019 年 3 月
- 地域連携センター副センター長 2025 年 4 月～